

科目名	国語Ⅱ Japanese II			担当教員	東城 敏毅			
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16220014	単位区別	履修	
学習目標	1. 現代文や古典の読解を通して、他人のものの見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。							
進め方	講義形式を基本とする。また論述演習・発表演習・相互議論も随時授業内に組み入れる。原則として週に1回漢字テストを実施する。							
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標				
	1. ガイダンス (2) (1) 現代文ガイダンス (2) 古典ガイダンス 2. 評論Ⅰ (6) (1) 『身銭』を切るコミュニケーション 3. 評論Ⅱ (6) (1) 「ミロのヴィーナス」 ----- [前期中間試験] (1)			物事の核心を把握する方法を身につける。 A3:1-2 日本人の思考・現代的な思考について考える。A3:1-2 論理的な文章の代表的構成法を理解できる。				
	4. 試験問題の解答 (1) 5. 古典Ⅱ (13) — 『源氏物語』 (1) 『源氏物語』の基礎 (2) 「小柴垣のもと」 ----- 前期末試験			代表的な古文を読み、人間・社会・自然について考えを深めたり広げたりすることができる。 A1:3				
	6. 試験問題の解答 (1) 7. 古典Ⅰ (14) — 『平家物語』 (1) 『平家物語』の基礎 (2) 「能登殿の最期」 ----- [後期中間試験] (1)			代表的な古文を読み、人間・社会・自然について考えを深めたり広げたりすることができる。また日本人の思考方法を知り、自我意識の変革を促す。 A1:3, A3:1-2				
	8. 試験問題の解答 (1) 9. 表現Ⅰ・小説Ⅰ (13) — 『山月記』 (1) テーマの設定 (班別討議) (2) プレゼンテーション演習 (班別発表) (3) 相互議論 (質疑応答) (4) レポート作成 ----- 後期末試験 (レポート2編)			文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。 多様な視点により柔軟な思考力を養う。 A1:3 データを効果的に説明する力を養う。 C1:1-2, C4:1-4 他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価することができる。 B1:1-2, B3:1-3 自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。 B2:1-2				
	10. レポート採点評価と本年度のまとめ (1)							
	評価方法	評価の内訳： 定期試験 70%，授業内演習・提出物 20%，漢字テスト 10%						
	履修要件	特になし。						
	関連科目	国語Ⅰ (1年) →国語Ⅱ (2年) →国語Ⅲ (3年) →文学特論Ⅱ (4年) →文学特論 (専攻科2年)						
	教材	教科書：精選現代文B 東京書籍 三角洋一他編 教科書：新編 古典B 教育出版 影山輝國他編 漢字：【精選】速修常用漢字 [改訂版] 文英堂 谷本 文男 参考書：新訂新国語便覧 第一学習社						
備考	特になし。							